

Practical Activity Report

活動実践レポート（小論文）募集要項

1 【募集テーマ】（ご自身のご経験に基づく成功例・失敗例・現在進行例など）

- ①スタッフ指導での実体験
- ②実際に改善に取り組んだ事例について
- ③その他（自由テーマ）

※募集テーマに関する注意事項

2000字以上【手書き（用紙は自由）、パソコンどちらでも構いません。】

上記のそれぞれの複数入稿は可能ですが、同じテーマの内容は、まとめて1テーマとさせていただきますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

2 【提出期間】

2026年3月末日まで

3 【活動報酬】

当機構学術講師会会則「第14章の（4）医療安全における研究資料および研究論文の作成」の規定に基づき、研修および研究の実務における謝礼金をお支払いさせていただきます。

（※上記の1テーマにつき「5000円」の謝礼をお支払いいたします。）

4 【提出方法】

- ①郵便：「手書き」および「パソコン」からプリントアウトして郵送。
- ②Eメール：作成された原稿ファイル（word）をEメールに添付して送信。

5 【提出先】

① 郵便



〒604-8155

京都市中京区占出山町308 山忠ビル5階

一般社団法人 日本病院管理機構

京都管理事務局 宛

② Eメール



info@jhmo.tokyo

活動実践レポート（小論文）作成 記入例

1. 「都道府県名」・「氏名」・「選択テーマ」は、必ず記入してください。

例) 東京都

例) 東京花子

例) テーマ：当院の院内における勉強会について

2. 選択されたテーマのレポート作成

① 選択されたテーマの現状

- ・担当病棟のスタッフ数や患者数、勤務体制、人間関係など含む
または、全病棟など・・・それぞれの立場での現場の現状

↓

② 問題点

- ・問題点・改善点・不具合内容・・・など
- ・起こりがちなミス・・・など
- ・現場でよくある事例・・・など

↓

③ 改善策

- ・実践事例
- ・実践可能な対策・・・など

↓

④ まとめ

※このレポート（小論文）は、テストではありません。

したがって、採点や評価の対象ではなく、これから医療安全を学ぶ方や後世の医療従事者へのアドバイスや指導と思って書いてください。

- ・自分の言葉で分かり易く書いてください。
- ・難しい言葉や表現は、なるべく避けてください。
- ・専門用語についてもなるべくかみ砕いてください。

例) I V = 静脈注射

例) I M = 筋肉注射

例) KT/BT/T=体温、P=脈、R=呼吸、BP/BD=血圧など。